

1. 授業の概要(ねらい)

春期に引き続き、TOEIC受験に向けた試験対策を行います。秋期は、リスニング部門に加え、リーディング部門にも取り組みます。リスニング部門では、春期にはあまり扱わなかったPART4(やや長めの説明文の内容把握)にもチャレンジします。リーディング部門では、基本的な文法事項の確認をしつつ、長文読解問題にチャレンジします。対象は、あくまで目安ですが、現在350～400点レベル、英検準2級1次試験合格程度の学生を想定しています。

なお、使用するテキストは旧形式のようですが、初級レベルについては、ほとんど影響がないと思われます。変更点がある人は、協会発行の『公式問題集』を使つての自習をお勧めします。

2. 授業の到達目標

リスニング部門

- ①PART1(短文の聞き取り)→基本単語を正確に書き取ることができ、60～80%程度得点できる。
- ②PART2(典型的な質問→応答パターン)→場面に応じた定型表現に慣れ、60～80%程度得点できる。
- ③PART3&4(会話やスピーチの内容把握)→必要な情報のみに集中することで、30～40%程度得点できる。

リーディング部門

- ④PART5(文法・語彙問題)→基本事項を理解し、60～80%程度得点できる。
- ⑤PART6&7(長文問題・図表の読解など)→大意の把握を優先する速読に慣れ、必要な情報を探し出すコツをつかむことで、30～40%程度得点できる。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験100%で評価します。当然、期末試験で一定レベル(＝概ね、50点程度。その年の得点分布を考慮し、若干緩める場合あり。)に達しなければ、「不合格」となります。単位稼ぎには向きません。参考までに、2015年度受講者の単位修得率は約83%、2016年度は約73%、2017年度は約82%、2018年度は約70%でした。

4. 教科書・参考文献

教科書

池内正直 『ハロー!! 新TOEICテスト』 朝日出版社

5. 準備学修の内容

春期の授業とは異なり、毎回の予習が不可欠です。扱う分量が倍増しますので、予め問題を解いてあることを前提にポイント解説を行います。

さらに、復習も必須です。リスニングについては、自信を持って「聞き取れた」と思えるまで、リーディングについては、基本単語の意味用法を確実に覚えられらるまで、念入りに行うこと。長文については、完全に意味を理解するよりも、大意を把握しながら速読できるようになることが大切です。

6. その他履修上の注意事項

受講希望者多数の場合、適正な授業環境確保のため、人数制限(＝100名程度)する可能性があります。初回または2回目の授業に出席した学生が優先されます。また、過去に、私が担当したこの科目を履修したものの不合格となった上級生は、定員に余裕がある場合のみ再登録を許可します。

この授業は、「自己啓発」の一環として開講されている科目です。他人の勉学の邪魔をするような非常識な学生は言語道断ですし、努力が嫌いな人もお断りします。授業中の私語等についても、厳しく対処します(→受験資格剥奪、不合格判定)。

7. 授業内容

- 【第1回】 Guidance、Listening Sectionの復習、履修(希望)受付
- 【第2回】 Reading Section PART5～PART7の例題解説
- 【第3回】 UNIT1(具体的な学習範囲は、前回授業時に配付するプリントにて指示します。以下、同様。)
- 【第4回】 UNIT2
- 【第5回】 UNIT3
- 【第6回】 UNIT1～3の残り
- 【第7回】 UNIT4
- 【第8回】 UNIT5
- 【第9回】 UNIT6
- 【第10回】 UNIT4～6の残り
- 【第11回】 UNIT7
- 【第12回】 UNIT8
- 【第13回】 UNIT9
- 【第14回】 UNIT7～9の残り、試験範囲・内容解説
- 【第15回】 まとめと期末試験